



いわき市地域汚水処理事業経営戦略 中間見直し版(案)の概要

1 策定の趣旨 (1ページ)

中長期的な視点に立ち、戦略的な事業展開を図るため、令和3年3月に「いわき市地域汚水処理事業経営戦略」を策定し事業を運営。

今般、社会経済情勢等の変化に適切に対応するため、計画期間の中間年度(令和7年度)に中間見直しを実施。

2 計画期間 ・ 3 計画の位置付け (1ページ)

計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間としています。

本戦略は、「市環境基本計画」等の各種計画との整合を図っています。

4 事業の現状 (2ページ)

・ 施設の概要

(令和6年度末現在)

施設名	勿来白米	石森	南台	草木台	洋向台
経過年数	46年	39年	31年	34年	41年
処理戸数	345戸	561戸	496戸	631戸	735戸

5 事業の課題 (3ページ)

- ・ 人口減少等により使用料収入の増加を見込むことが困難
- ・ 施設・設備の老朽化への対応に要する費用の増大

6 事業分析 (3ページ～8ページ)

事業の現状や課題等を把握するため、「資産・業務(モノ)」、「財務(カネ)」の2つの分野について、総務省が作成を求めている「経営比較分析表」等で用いられている各種指標を用いて分析を行います。

(令和6年度末現在)

項目	地域汚水	下水道	農業集落排水
施設利用率	35.8	68.7	41.7

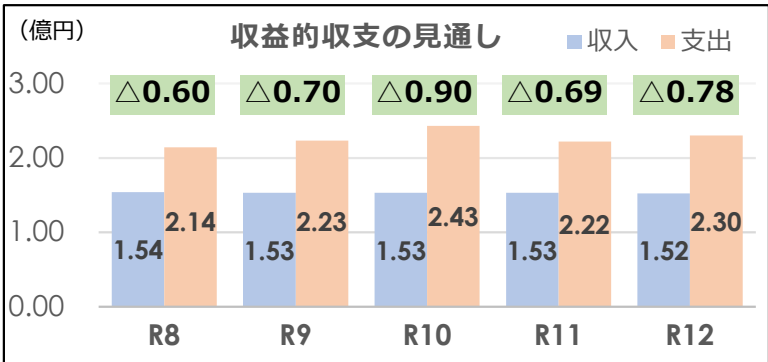
7 経営の基本方針 (7ページ)

- ・ 将来にわたり「安定的で持続可能な事業経営」の実現を目指す

8 投資・財政計画（7～14ページ）

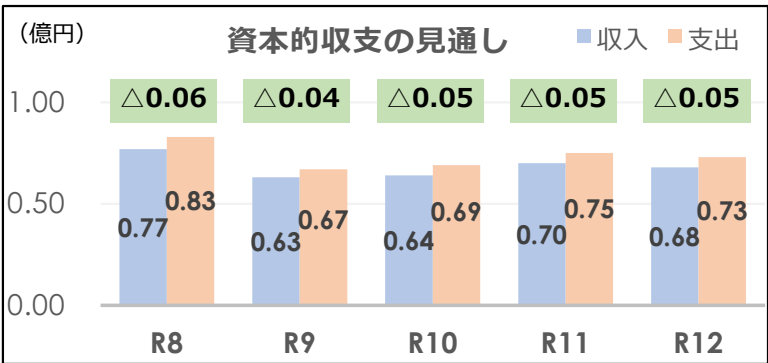
○収益的収支の見通し

- 令和8年度以降、
継続的に純損失が発生する見込み
【最大：約9,000万円、平均：約7,000万円】



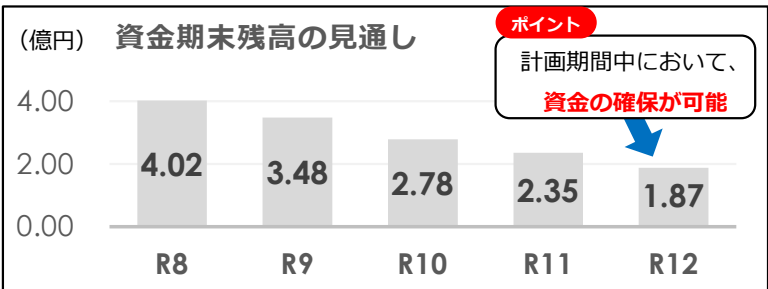
○資本的収支の見通し

- 令和8年度以降、
継続的に収支不足額が発生する見込み
(収支の構造上、基本的に不足額が生じる)
【最大：約600万円、平均：約500万円】



○資金期末残高の見通し

- 本戦略の計画期間内においては、
事業の**保有資金を活用することで、
一定程度の資金が確保できる見込み**
- 一定程度の資金を有しており、
安定的な事業経営が行える見込み



9 今後検討予定の取組の概要（16ページ）

将来的に経営環境の厳しさが増していくことが想定されるため、経営戦略に掲げる取組の推進が必要。

【 経営戦略に掲げる主な取り組み 】

取組	地域汚水処理事業
広域化・共同化・事業のあり方に関する事項	<ul style="list-style-type: none">施設・設備のダウンサイジングを検討していく下水道へ接続するシミュレーションを実施するなど、事業のあり方（方向性）について幅広く検討していく
投資の平準化に関する事項	<ul style="list-style-type: none">施設・設備の老朽化に対応した修繕等を計画的に実施していく投資の平準化と総事業費の抑制を図りながら、施設の機能維持と長寿命化に努めていく
使用料の見直しに関する事項	<ul style="list-style-type: none">使用料水準の見直しを含めた使用料のあり方について検討を進めていく経営状況について、市民の皆様へ広報紙や市公式ホームページなどにより、適宜情報を発信し理解醸成に努める社会情勢等の様々な要因により、今後の経営環境に大きな変化が生じた場合を除き、現行の使用料を維持していく